

那 覇 市 教 育 委 員 会 会 議 録

平成26年度第19回（定例会）

署名人 饒波正博

委員長 添石幸伸

開催日時 平成27年1月8日（木）

開会 午前10時00分

閉会 午後12時30分

開催場所 那覇市役所11階 1101A・B会議室

出席委員 添石幸伸委員長、喜久里美也子委員、饒波正博委員、神村洋子委員

欠席委員 渡慶次克彦教育長

議 事 日 程

（2～7は非公開）

- 1 委員長職務代理者の指定について
- 2 議案第38号 那覇市学校給食センター設置条例の一部を改正する条例制定に関する意見について【学校給食課】
- 3 議案第39号 平成26年度那覇市一般会計補正予算（2月補正）に関する意見の申し出について（幼稚園関係分）【こども政策課】
- 4 議案第40号 平成27年度那覇市一般会計予算に関する意見の申し出について（幼稚園関係分）【こども政策課】
- 5 報告1 平成27年度那覇市一般会計予算に関する要求について 【総務課】
- 6 議案第41号 平成27年度那覇市一般会計予算に関する意見の申し出について 【総務課】
- 7 報告2 平成26年度那覇市一般会計補正予算（12月補正）の確定について 【総務課】
- 8 報告3 那覇市議会12月定例会における議決議案及び代表・一般質問答弁状況について【総務課】

出席職員

【生涯学習部】伊良皆宜俣部長、屋比久猛義副部長

（総務課）山内健課長、佐久川敏明副参事、島袋久美子主査、伊禮道子主査

【学校教育部】田端一正部長、森田浩次副部長

(学校給食課) 仲程直毅課長、森田勝主幹

【こどもみらい部】本部栄治副部長

(こども政策課) 諸見里律子副参事、惣慶敦子主幹、新垣夏彦主事

会議録作成 (総務課) 赤嶺明日香主査

添石委員長　ただいまから平成２６年度第１９回教育委員会会議定例会を開催いたします。本日、渡慶次教育長が欠席となっておりますが定足数は満たしています。本日の会議録署名は饒波委員にお願いいたします。議事日程の１番目は「委員長職務代理者の指定について」となっています。委員長職務代理者の職務は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第１２条第４項により、「委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、あらかじめ教育委員会の指定する委員がその職務を行う」と規定されています。選挙の方法につきましては、那覇市教育委員会会議規則第３条の規定により、単記無記名投票で決定するか、指名推選で決定するかになりますが、いかがいたしましょうか。

神村委員　継続をお願いしたいと思います。

添石委員長　いま、喜久里委員への継続という推選がございました。

全　　員　　異議なし

添石委員長　ぜひ頑張っていたきたいと思いますので、よろしいでしょうか。

喜久里委員　はい、では一緒に頑張っていきたいと思います。

添石委員長　それでは、ただいま神村委員、饒波委員のほうからも、喜久里委員の指名推選がありました。委員長職務代理者は喜久里委員ということでご異議ないでしょうか。

全　　員　　異議なし

添石委員長　それでは、ご異議がないようですので、委員長職務代理者は喜久里委員ということで決定させていただきたいと思います。喜久里委員の委員としての任期が、平成２７年１０月３日までとなっておりますので、職務代理者としての任期も平成２７年１月８日から平成２７年１０月３日までとなりますのでよろしく願いいたします。それでは続きまして、議案第３８号につきましては、那覇市議会２月定例会に提出予定の案件が含まれ、また、議案第３９号、議案第４０号、報告１、議案第４１号、報告２については、予算編成過程・予算要求の数値があるため、非公開とすることが適当であると思われます。それでは、会議の非公開の可否について「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第１３条第６項及び第７項」により採決いたします。議事日程２の議案第３８号から議事日程７の報告２までは、非公開としてよろしいでしょうか。

全　　員　　異議なし

添石委員長　異議なしとのことですので、議案第３８号、議案第３９号、議案第４０号、報告１、議案第４１号、報告２については非公開とします。関係者以外は退席をお願いします。

～ 非公開 ～

添石委員長　ここで非公開を解かせていただきたいと思います。続きまして、報告３「那覇市

議会 12 月定例会における議決議案及び代表・一般質問答弁状況について」報告をお願いします。

伊良皆部長

報告理由説明

山内課長

資料説明

添石委員長

それではご意見、ご質問等、ございましたらお願いします。はい、神村委員。

神村委員

要望と言いますか、宮平のり子議員から平和行政についての質問がありました。この中で対馬丸記念館のことがあったかと思います。戦争についての資料とか一番充実して、那覇にある施設としてはこれかなと思うのですが、天妃小学校の子どもたちとか近くの子どもたちは結構見学をしていると思いますが、私たちも見学をしたいなど。委員会の研修の中で行ったらどうでしょうか。私が過去に対馬丸記念館の理事でいた時があります。学校教育課長がその充て職だったかと思うのですが、いまは変わったかもしれませんが。委員会の皆さんも一度はそういう施設を見ていたほうが、担当者に関してはそういうところを見ながら、学校現場をまた振り返りながら、その機会を作っていただきたいなと思いました。

添石委員長

ほかいかがでしょうか。私のほうからですが、先ほどの議案第 149 号で大名小学校資材の高騰と、人件費というのがあったのですが、これは大名小学校に限らずいろいろな所でこういう事を聞くのですが、実際こういう案件が増えていくと、財政にどう影響がでてくるのかなと少し心配だったんですが。いまわかっている範囲でこういう案件というのが今後出そうだというような状況があるのでしょうか。

伊良皆部長

この件に関しては、教育委員会のみならず、都市計画部、建設管理部あたりでも同じようなかたちで何件か出てきておりました。当然これは制度的な部分で、那覇市の工事請負契約約款の中にもありますので、いわゆる急激な変化、それに対してはちゃんと対応しなさいというのがありますので、国・県あたりも同様の措置をとっておりますし、当然これに対しての財源は増えはしますけれども、これは約款で決められたことですから、実施するという形になります。

添石委員長

その単価の高騰もあるのですが、よく聞くのが人材不足でどうしても工期が延びてしまうというのがあるとよく聞くのですが、現実的にはそういうことも教育委員会絡みでもあるのでしょうか。

伊良皆部長

この人材の部分については一部大工さんの確保が難しくて、工期日程が難しいとか、あるいは、入札案件出してもなかなか手が上がらないとかという状況は、24 年度はかなり多かったように記憶しておりますけれども、いまでも若干まだあるような感じでは聞いております。

添石委員長

過去に比べると少し落ち着いているということですか。

伊良皆部長

他部局全体の部分まではわかりませんが。

屋比久副部長　大きな契約に関しては、選定の委員会を開いているんです。その中でもやはり入札不調というものが少なからず出てきていて、金額的な問題であるとか、人材の確保ができない、事業者として取りたいんだけど人も人がいなくて対応ができないという部分も時々見受けられるという状況。また今後、東京オリンピックとかいろいろな需要が増えていく中で、そういうものも何らかの対策が必要なのかなということは話し合われているところではあります。

添石委員長　わかりました。ほかいかがでしょうか。はい、喜久里委員。

喜久里委員　神村委員もおっしゃっていた平和教育、対馬丸の事も含めてですね、私自身が那覇市の小中学生にどのような平和教育をしているのかがわからないものですから、それも含めて、何年生は何をするというのがありましたら教えていただきたいのと、実は、県外の高校生、特に長野県の高校生は、ふじ学徒隊の隊長と縁があったというご縁で、修学旅行生が沢山長野からきて、生き残りの方たちが講話をするというのに立ち会ったりしているんですけれども、事前でそういう映画も見てきて、その豪まで行くという一連の平和教育を見ていて、沖縄は、那覇はどう”なっているのかなというふうに思ったものですから。ちょっとずれますけれども、いまの現状を教えていただきたいと思います。

添石委員長　はい、田端部長。

田端部長　学年に応じた平和教育の題材について、いま詳細を持ち合わせておりませんのでお答することができませんけれども、6月23日の慰霊の日あたりで、平和月間というかたちでほとんどの学校が位置づけて、沖縄戦の資料とかあるいは、前島小学校などは対馬丸記念館から招聘できる方をお呼びしてお話をしたり、地域のお年寄りのお話を聞いたりしてやっておりました。それから大田元知事が行っている、那覇市内戦跡マップみたいなものがあるんですね。この戦跡はこういう意味だよというマップがありましたので、昨年度それを全小中学校に配ってありますので、それを基に平和学習に生かしてほしいというような取り組みを行っております。また先生方については、毎年この対馬丸記念館で平和教育担当の教諭の研修を行っておりますし、そこには教育長をはじめ私たちも一緒に行って、その研修に参加をしております。

喜久里委員　県外の学生の熱い思いというのを、他府県の人がこんなに沖縄を思ってくれるというのは、私、大人としても衝撃だったのですが、沖縄は身近にありすぎて、意外と地元を見られていないのかなと思ったものですから。どこか頭に留めていただけたら。熱心に勉強している子どもたちが県外では多いという、それが修学旅行とセットになってやりやすいというものもあるのかもしれないのですが、豪の中に雨靴を履いて行くというところまでやっているんですね。それでちょっとびっくりしたものですから。

田端部長

補足ですが、いま赤表紙という学校教育課の年間事業計画等々を作成しているのですが、今年戦後70年となっておりますので、戦後70年というのを意識したかたちで、戦争体験者の証言だとか、資料とか力を入れていきたいなど、項目自体にも戦後70年平和教育の推進というかたちで入れ込んで行く予定であります。

喜久里委員

よろしくお願いします。

添石委員長

よろしいですか。ほかいかがでしょうか。はい、饒波委員。

饒波委員

真和志地区の人材育成支援施設事業について、何人かの議員の方が質問していますが、もともとは地域に図書館とか地域の施設がほしいという要望から、いまは那覇市全体の施設と大きく変わって、いろいろなことで遅れている感じで、10年位前から運動して、やっと決まったけれどもなかなか進まないという状況で、これを見ると住民の方々と何回か話し合いを持ったという事だったんですけども、その頑張った人達に少し苛立ちみたいなものはないですか。

添石委員長

はい、伊良皆部長。

伊良皆部長

この件に関しましては、いわゆる那覇市の近年の観光客数もご承知のとおり、600、700万人という状況になってきて、那覇市内においても外国語の観光客がかなり多いと。それに対応して、商店街の方々とか会話の問題というのも課題として出てきているというふうな状況であります。そういった意味合いからして、人材育成という部分についても必要だろうというふうな状況がでてきました。これは当然、英会話とか、グローバルな視点からいわゆる企業家を育てる、観光客と触れ合う事によってですね、そういったことからグローバルな視点を持つというふうな状況も相まって、いわゆる公民館・図書館というかたちいわゆる人材育成施設機能としての考え方の施設にしたらどうか、というふうな状況がでてきました。そういうふうな考え方をすることによって、一括交付金の活用も可能になってくるという状況がありました。こういった状況を踏まえて、地域の方々にもその旨の説明はしてきております。最初の段階では、やはり地域の方々も図書館・公民館という考え方はありましたが、説明の中で那覇市の人材育成の必要性、重要性等々も理解していただくということと、あと地域の方々もその施設自体についての活用は当然できるというふうな状況も踏まえて説明をしていく中でまた、それから勉強会というようなかたちで3回ほどもたせていただいたんですが、その中でも、地域からの要望がでてきている部分があります。これを全部聞くというわけではないのですが、少なくとも、この施設が活用できるような部分の意見について反映させていこうという中で3回ほど勉強会というかたちをとらせていただいて説明してきておりますので、その分について充分理解はしていただいているというふうに思っております。

添石委員長

よろしいですか。

饒波委員 はい。

添石委員長 それでは意見、質問出尽くしたようですので、報告3「那覇市議会12月定例会における議決議案及び代表・一般質問答弁状況について」は終了いたします。それでは以上をもちまして、平成26年度第19回教育委員会会議定例会を終了いたします。

案件の審議結果

議案第38号	那覇市学校給食センター設置条例の一部を改正する条例制定に関する意見について	原案どおり可決
議案第39号	平成26年度那覇市一般会計補正予算（2月補正）に関する意見の申し出について	原案どおり可決
議案第40号	平成27年度那覇市一般会計予算に関する意見の申し出について	原案どおり可決
議案第41号	平成27年度那覇市一般会計予算に関する意見の申し出について	原案どおり可決